

災害時は

《ペットの命を守ることは、人の命を守ること》

ペットも一緒に同行避難!

★仙台市の避難所運営マニュアルには『ペット連れの避難者への対応』の記載があります。

仙台市の避難所運営マニュアルを検索し、
(4)マニュアルシート集をごらん下さい。

仙台市の避難所
運営マニュアル
QRコード



仙台市被災動物救護対策連絡会

公益社団法人仙台市獣医師会 TEL 022-387-5225
アニパル仙台(仙台市動物管理センター)
NPO法人エーキューブ

衛生班

「ペット連れ避難者への対応」

F

- ★ ペットと一緒に避難する方については、避難所に入所するにあたり、ペットの対応について説明して理解を得る必要があります。
- ★ 以下の手順で、ペット連れ避難者の受入れを行います。(シートFは1枚です。)

チェック → 継続

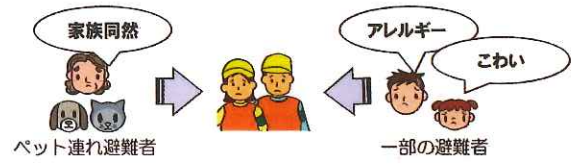
ペット連れ避難者の受付を行い「ペット登録台帳」に記載します。

様式4
様式集P11

チェック → 継続

施設の利用計画などを参考に、ペットスペースを決定します。
* 衛生面やアレルギー対策として、他の避難者の居住区にペットは入れません。

ペットの受け入れは、人によって意見の違いがあるので特に留意します。



- ◇ 屋外で飼育可能なペットは、原則「屋外」にスペースを確保して、繋ぎとめるなどし、飼い主に責任を持って飼育してもらいます。
- ◇ 屋外で飼育困難なペットについては、以下の点の厳守を前提として、屋内のスペース確保を検討してください。
* ケージなどに入れ、飼い主が責任を持って管理する。
* 他の避難者の避難スペースと分離する。
* 施設の利用計画などと照らし合わせ、施設管理者等と十分協議する。
- ◇ ペット連れ避難者の責任を十分説明し、他の避難者に理解を得てペットスペースを確保しましょう。

チェック → 継続

ペットの飼育についてルールを決め、飼育者に徹底してもらいます。
* 飼育と飼育場所の清掃は、飼い主に責任をもってしてもらいます。

※裏面参照

シートFは1枚で終了です。チェックした項目を、避難所閉鎖まで継続してください。

《災害に備え、飼主が準備しておくもの》

・・・ペットへの備えは、飼主の責任です・・・



★ペットの避難用品

餌・水・予備の首輪とリード・食器・ペットシート・簡易猫トイレ(猫砂)・排泄物を処理する袋(多めに)・タオルなど。

ペットに合わせて必要なものを、少なくとも**5日分は持ち出せるように**用意しておきましょう。

★迷子札とマイクロチップの装着を！

室内飼いの犬や猫でも、災害時には家から逃げだし家族と離れてしまうかもしれません。首輪に迷子札と身元証明として確実なマイクロチップを装着しましょう。

命の危険を感じたら、躊躇なくペットを連れて避難するために、ペットの健康管理やしつけはもちろん、普段から地域の方々とコミュニケーションをとっておくことが大切です。地域の避難所のペット対応も確認しておきましょう。ペットを飼う人も飼わない人も、そしてペットも災害で命を失う事のないよう、普段から防災意識を高め、しっかり準備しましょう。

✓ 準備のポイント

- 日常からケージやキャリーバックを利用し、ペットが落ち着ける場所にしておく。(避難時に持参、ペットが安心できる居場所の確保)
- 首輪・リードに慣れる。(猫も避難先からの逸走防止やストレス軽減)
- 人やほかの動物を怖がらない。
- 決められた場所での排泄や適切な処理など、普段からマナーを意識。
- 各種ワクチン接種、避妊去勢、寄生虫の予防駆除。
- いつもの餌・療法食は、開封したら次を用意しておく、ローリングストックでいつでも新しいものに。
- 親戚・友人・ペット仲間など一時預け先の確保。
- 管理の難しいペットは、特に預け先を確保しておきましょう。

